

少年センターだより

発行



日野町少年センター

日野町河原1-1

TEL0748-53-1325

<https://syonen.jp>

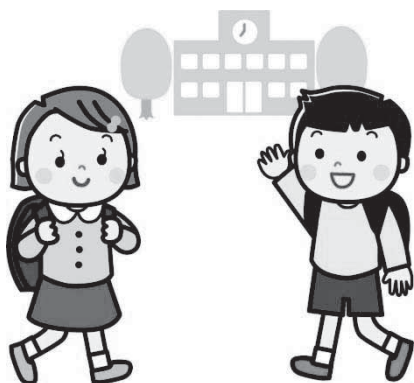
日野町少年センター



「子どもたちの気持ちの良いあいさつの声が、よく聞こえてくるようになりましたね。」と町民の皆さんから言ってもらえるようになりました。町内では、あいさつが当然のように行われ、子どもたちが通う小学校、中学校では、あいさつ運動が定着してきました。子どもたちからも大きなあいさつの声が聞こえるようになってきました。穏やかな日野町の日常を感じておられる方も多いのではないのでしょうか。



少年非行の減少は「あいさつ」が影響？



少年非行の件数が、10年前と比べると激減しているという報告がありました。科学的に根拠があると証明されていませんが、あいさつが、青少年の生活に何らかの影響を与えている、もしくは相関関係があるのではないかと思います。

現に、周りの人から元気にあいさつされると気持ちがいいですし、うれしい気持ちになります。また、あいさつは、社会性を身につけていくうえで基本となり、あいさつをしてそこからコミュニケーションが生まれ、人とのかかわりが深まり、人間関係が広がっていく場合が多いとされています。

園や学校はもちろんのこと、各種団体の方々によるあいさつ運動は、大きな成果をあげてきました。さらには、朝夕の通学路で、子どもたちを見守る傍ら、声掛けに励んでくださっている方々もたくさんいます。こんな大人の姿を見て、子どもたちも独自の取り組みを進めています。

町内の各小中学校では、子どもたちから率先してあいさつをしています。それぞれの学校によって、取り組み方は違いますが、朝早く来て他の子どもたちをあいさつで迎え入れる子どもたちがいたり、授業の始まり終わりや給食でのあいさつの声を、子どもたちから発したりしてくれます。大人と同じように自主的にあいさつ運動に参加して、校長先生や地域の方々と一緒にあいさつをしてくれている子どももいます。もちろん、声をかけられた子どもたちの返すあいさつは、気持ちいい声で響いています。素晴らしい子どもたちが日野町で育っています。大人も見習いたいものです。



日野中学校生徒会によるあいさつ運動

家庭で「おはよう」が聞こえますか？

ところで、家庭ではあいさつが普通にされているのでしょうか。保護者へのある調査で「どんな子どもに育てたいですか？」と問われると、「あいさつができる子」という回答が一番多かったとありました。誰もがあいさつの大切さを感じていながら、実行に移せていない大人もいるのではないのでしょうか。昔は大家族が多く、父親や母親が、おじいちゃんおばあちゃんにあいさつをするのを間近に見たり、近所付き合いが盛んで、おじちゃんやおばちゃんにあいさつする姿を子どもたちは見たりしてきました。ところが、核家族化が進み、近所付き合いが少なくなってきた今日、見本を見せることが少なくなってきたのではないのでしょうか。朝起きたら「おはよう」が家庭の中で自然に行き交う環境こそ、あいさつができる子どもたちを育む土台となるのではないのでしょうか。もう身についておられる大人はいいですが、そうでない大人は、夫婦間、親子間で、元気にあいさつを交わすように心がけてみたいものです。もちろん、近所の皆さん方とも、元気にあいさつを交わしたいものです。

あいさつができることから、「ありがとう」や「ごめんなさい」が素直に言えるようになり、これも家庭環境が土台になっている一つの要因とも言われています。

大人として、親として、今一度、家庭内のあいさつを見直し、元気にあいさつのできる子どもたちを育てていきたいものです。



子育て小窓

私たちの周りには様々なストレスの要因があり、心や身体に影響を及ぼしています。ストレスによって、イライラしたり、不安になったり、また、頭痛や腹痛といった身体の不調につながることもあります。心と身体のバランスを整えるためには、自分に合ったストレス解消法を見つけることが大切です。

一見ストレスと無縁の様に思われがちな子どもたちも、日々の生活の中でストレスを感じていることが多くあります。子どもたちはストレスを自覚しにくく、また、発散方法が限られているため、ボーっとしていたり、走りまわったり、やってはいけないことをしたり…行動に出やすいことがあります。そのような姿が見られたときには、一緒に遊んであげたり、ゆっくりと話を聞いてあげたりできるといいですね。いつも通りそばにいてあげるだけでも安心感につながると思います。「子どものストレス」気に掛けたいものです。

(日野町子育て・教育相談センター O)

あいさつは、家庭・地域と共に

日野小学校 校長 岩脇 俊博



朝の登校時に校門に立っていると、登校してくる小学生はもちろん、自転車に乗って通学する中学生、出勤される方、地域の見守りの方など多くの方から「おはようございます」と声を掛けていただきます。本当に嬉しい瞬間であり、一日のスタートに元気をもらっています。そうした嬉しい思いをしているのは、私だけではないはずです。

日野町では、すでに多くの地域や学校であいさつ運動が取り組まれています。朝、車で校区をまわっていると、いろいろなところで地域ごとにタスキやジャンパーを揃え、子どもたちの見守りと同時にあいさつやお声をかけていただいています。本当にありがたいことです。心から感謝申し上げます。

謝申し上げます。

そのおかげで、自然にあいさつできる子どもが増えてきましたし、子どもたちには地域の方々に見守られているという安心感や自分の住んでいる地域への愛着も育まれてきています。

学校でも、あいさつがしっかりとできる子ども達を全職員で育てています。あいさつで一日がはじまり、あいさつで終わるように取り組んでいます。これからも子どもたちの気持ちに寄り添いながら、声を掛けていきたいと思ひます。

しかし、学校だけの取組では不十分ですので、ご家庭や地域で協力していただけると、とても助かります。朝起きたら「おはよう」、ご飯を食べるときは「いただきます」、食べ終わったら「ごちそうさま」、家をでるときには「いってきます」、帰ったら「ただいま」、寝るときは「おやすみ」、ちょっとしたことでも「ありがとう」が言えたら素晴らしいと思ひます。そんなあいさつが交わせるように、家庭や地域で大人がすすんであいさつをしたり、子ども達が気持ちの良いあいさつができるような環境や雰囲気づくりをしていけたりしたらと思ひます。

あいさつはメリットあってデメリットなしと言われます。そしてあいさつには自分も相手も元気にする力、人と人とを繋げてくれる力があります。これからも元気で明るいあいさつで、お互いが気持ちよく、笑顔になれる機会を共につくっていただければと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

不正大麻・けし撲滅運動 5月1日～6月30日 みつけた場合は保健所へ

日本では、無許可で大麻やけしの一部の種類を栽培したり、種子などを所持したりすることは法律で禁止されています。

また違法薬物は、1回でも使用すれば薬物乱用の犯罪になります。さらには、医薬品を病気や傷の治療以外に使用したり、使用量を守らなかつたりすることもゼツタイにやめましよう。



つぶやき

知人に誘われて始めた子どもの見守り活動も、20年が過ぎました。日野に移り住んで、地元で恩返しや貢献ができたかな、という漠然とした気持ちで始めました。しかし、近所の方から「おかげで安全に過ごせています。ありがとうございます。」とか、子どもたちから楽しく話しかけてきてくれることなどで励みとなり、今まで続けてこられたと逆に感謝しています。

下校時の子どもたちの顔を見ると様々です。にこやかな顔で「ただいま！」と大きな声であいさつしてくれる子がほとんどですが、中には悩んでいそうな子や、泣いている子もいます。そんな子に声をかけると、素直に話してきてくれます。悩みは解決してやれないけれど、「そうか、そうか」と聞いてやることで、何とか元気になってほしいと願うばかりです。みんなかわいい地域の子どもたちです。素直で、元気に育ててほしい。その願いを込めて、この活動をもう少し続けていきたいと思っています。



日野町少年補導委員 大宗 正和気

令和5年度日野町少年補導委員

公民館	氏名	公民館	氏名
日野地区	○池内 美代子 (上野田)	西大路地区	平岡 喜志夫 (仁本木)
	大宗 正和気 (五月台)		藤岡 美雪 (西大路)
	河副 正美 (松尾2区)	鎌掛地区	◎竹村 一男 (鎌掛第2)
	外池 多津彦 (村井)		奥村 貴代 (鎌掛第2)
	福本 喜美代 (寺尻)	南比都佐地区	谷 たづ子 (下駒月)
東桜谷地区	森田 貴美恵 (原)	必佐地区	藤澤 育弘 (清田)
	奥野 正巳 (佐久良)		吉澤 茂樹 (湖南サンライズ)
西桜谷地区	川原 繁 (安部居)		安田 均 (内池東)
	田上 真由美 (北脇)		富田 忠夫 (三十坪上)
◎会長 ○副会長			久村 眞里子 (豊田5区)
		竹内 千代美 (石原)	
		西村 聡 (猫田)	

ひとりで悩まないで まずは相談を！

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごとの相談を行っています。お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

○来所相談 ○電話相談 ○メール相談

来所・電話時間：月～金9:00～16:30

日野町少年センター (日野町勤労福祉会館 2階)

電話 0748-53-1325

E-mail hino@syonen.jp

日野町少年センター

